

講演会「語り継ぐ食卓—今できることから始めよう—」の開催について

北海道みなどの文化振興機構は、6月18日、全国的に著名な料理研究家、藤野真紀子先生をお招きして講演会を開催しましたので、その概要をご紹介します。

この講演会は、北海道が豊かな食材の宝庫であり、港は、日本の食料基地として大きな役割を担ってきたことを踏まえ、料理やお菓子が暮らしの愛情表現という視点から非常に大きな役割を果たしているという藤野先生の想いを新しい世代に伝える場として、また、当NPO法人が港の食文化というものを広く地域に理解していただくために開催しました。

藤野先生は、1978年、ご主人の海外赴任に伴い、一家でニューヨークに転居、コンドン・ローズ・ベーキングスクールにてアメリカンベーキングを学び、82年帰国、83年から玉川田園調布で「デポ39」でお菓子と料理の仕事を始められました。

86年、ご主人2度目の海外勤務でパリに転居。滞在中にエコール・リッツ・エスコフィエで、お菓子と料理のディプロマを取得され、外にも三つの料理学校に学ばれました。

帰国後は、「マキコ・フーズ・ステュディオ」を主宰し、テレビ、雑誌、講演会、各種イベントで幅広くご活躍中です。

会場は、全席テーブル付きの150人セットで、大部分が若い人達を中心とした女性で占められました。

講演は、大部分が講師の実践を踏まえた生き方が中心となりましたが、特に、一社会人としての女性の生き方と家庭のあり方について、広い角度から生活感あふれるお話をさせていただきました。

印象的だったのは、14歳の少年がパン工場を経営する父親の下で働く話でした。

工場は、地下にあり、少年はいつか外に見える工場を造りたいと思っていました。

やがて、父からパン工場を引き継いだ息子は、全体がガラス張りの工場を造り、そこでは、職人がパンを作りながら外の緑が見える、そしてリスなどの動物が見える、そういう工場を完成させて、先代から引き継いだ本物のパンを地域の多くの人達に食べてもらいたいという強い想いは、多くの人達の心を捉え現在の大きな工場になりました。

この少年の時の発想を長い間温め、熟成させて実現させる、これは、「語り継ぐ食卓—今できることから始めよう—」という講演会の趣旨に相通じるものがあると感じました。

この講演会をつうじ、先生の、妻として、母として、更には、21世紀の若い世代に伝える料理の心によせる想いと、しなやかな人生観は、料理研究家としての優れた資質を十分感じさせるものであり、多くの人達が共鳴したのではないかと強く感じました。



実演を交えて話す藤野真紀子講師



講演会の会場風景

通常総会終了

平成16年2月20日NPO北海道みなとの文化振興機構の第1回通常総会が北ビル8階会議室で開催され、当初90人出席予定のところに105人の会員がお出でになり、会場は満席の状態でした。

これは、NPO会員の皆様が日常のNPO活動に寄せる関心の高さを感じると同時に事務局といたしましては、本総会で承認された計画事業につきましても皆様の期待に応じていくよう気持ちを新たにしたところでございます。

今後とも、NPO活動をつうじて社会に貢献していくよう努めてまいりますので、会員の皆様には、なお一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一口メモ……ボランティアとNPO

NPO活動の特徴である非営利性とは、団体として活動経費や組織の管理経費は稼ぐけれど余ったお金は仲間に分配しないで次の活動に備えるのに対し、ボランティア活動は、まさに無報酬性ですから、個人が働いたことの対価としてお金をもらわないことを意味しております。

NPOは団体、ボランティアは個人に注目した言葉ですが、特に、1995年の阪神淡路大震災では、ボランティアやNPO活動が社会の注目を集めたこともあり、このことが追い風となって98年には、NPO法（特定非営利活動促進法）が成立しました。

NPO法人は、その目的達成と組織の維持管理のためには、資金と人材を調達し、人を雇ったり企業や行政と契約を結び取引を行っていかねばなりません。

このようなことから、ボランティアは、活動に参加する側なのに対し、NPOは、ボランティアの活動する場をつくる、参加を求める側であることの違いでもあります。

お 知 ら せ

「海の日」私たちの港のこと、そして海について考えよう。

「みんなのMINATOフェア」を下記により開催いたします。

開催日時 7月18日（日）と7月19日（祝）10：00～18：00

会場 サッポロファクトリー・アトリウム広場

共催 （財）港湾空港建設技術サービスセンター北海道支部
NPO法人 北海道みなとの文化振興機構

NPO情報

道内の特定非営利活動促進法に基づくNPO法人の認証数は、平成16年6月末の集計では656団体です。

活動分野別の集計は次のとおりです。

- ・保険、医療、福祉関係 293
- ・まちづくり 99
- ・文化、芸術、スポーツ 73
- ・環境保全 67
- ・社会教育 48
- ・子供の健全育成 38
- ・その他 38